



2027年3月期 第1四半期 連結決算概況

2026年8月7日

オリンパス株式会社 | 取締役 代表執行役 社長兼 CEO ボブ・ホワイト | 執行役 チーフファイナンシャルオフィサー マイケル・パレンティ

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

- CEO 1. エグゼクティブサマリー
- CEO 2. 戦略の進捗
- CFO 3. 2027年3月期 第1四半期 連結業績および事業概況
- CFO 4. 通期業績見通しに対する進捗
- 5. Appendix

エグゼクティブサマリー

パーパスを原動力に成長を実現する企業として、 内視鏡医療の未来を切り拓く

私たちの存在意義

世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現

当社の戦略基盤

イノベーションによる成長	シンプル化	責任ある行動
次世代イノベーションをリードし、 成長市場での事業拡大を図る	オリンパスをシンプル化し、 迅速な意思決定と効率的な運営を実現	品質・オーナーシップ・実行力を重視する ハイパフォーマンス文化の醸成を促進

FY27-FY29 財務ガイダンス

売上高 ¹ 3-4-5 % FY29までに前年比5%の売上成長	営業利益率 ² 100 プラスbps FY26を起点に毎年の利益率改善	EPS成長率 ² 10 %超 FY26を起点としたCAGR
---	---	---

¹ 為替前提を固定 ² 特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く、為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

戦略の進捗

当社の戦略基盤に対する進捗

イノベーションによる成長

次世代イノベーションをリードし、
成長市場での事業拡大を図る



- EDOFスコープを中心に、EVIS X1プラットフォームの成長モメンタムが継続
- 過去12カ月間でFDAから30件以上の510(k)認可を取得
- BioProtect社の買収を完了し、前立腺がん領域へ参入

シンプル化

オリンパスをシンプル化し、
迅速な意思決定と効率的な運営を実現



- 事業主体のオペレーティング・モデルにより、長期的な効率化の基盤を構築
- ポジション最適化施策はおおむね完了
- FY28までの年間240億円のコスト削減効果実現に向け、計画通り着実に進捗

責任ある行動

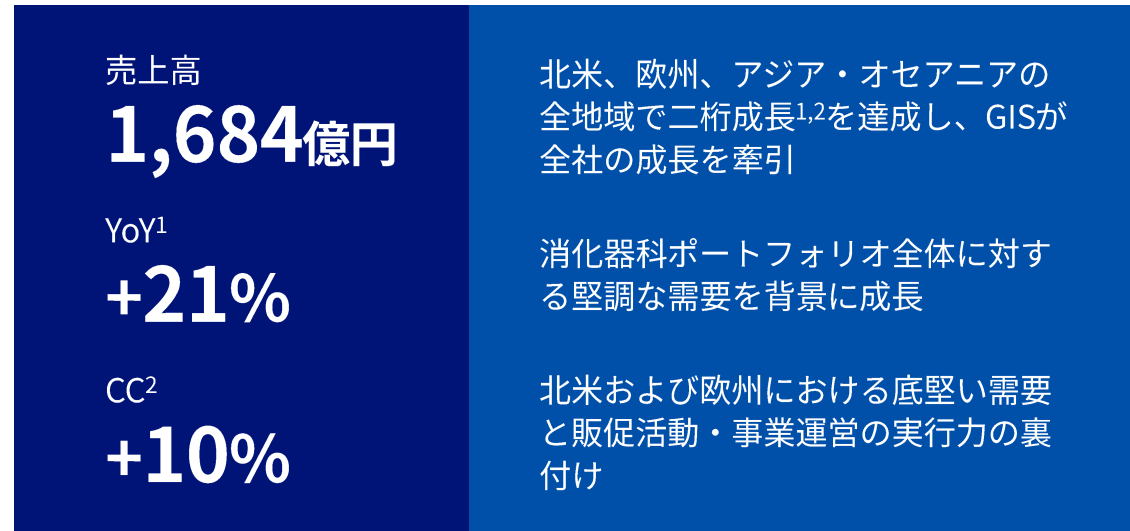
品質・オーナーシップ・実行力を重視する
ハイパフォーマンス文化の醸成を促進



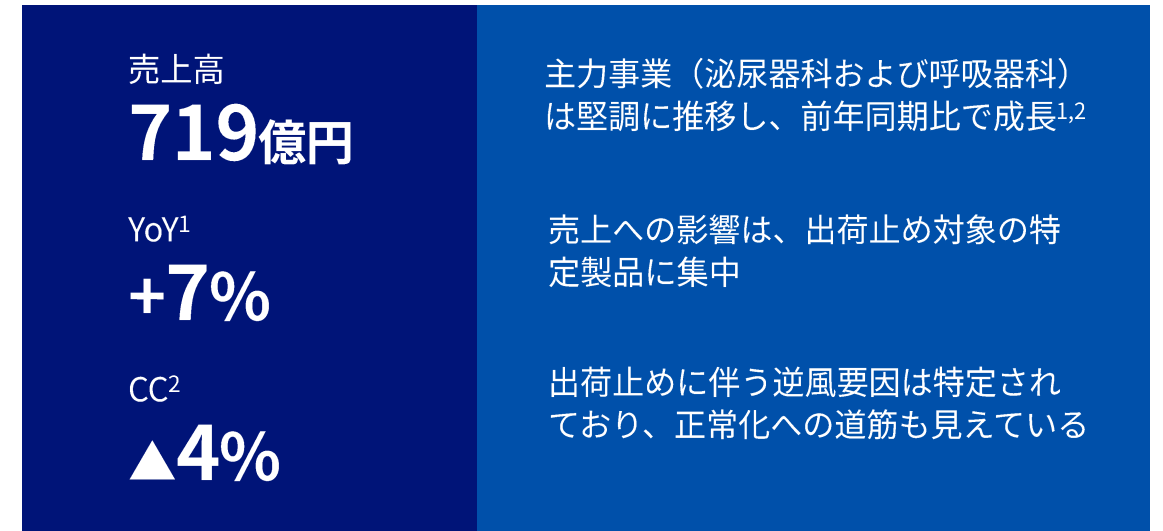
- Q1は北米、欧州、アジア・オセアニアでのGISの力強い業績が寄与し、高い成長を達成
- 説明責任と業績評価の強化により、一貫した実行力を発揮
- 外科事業のレビューを継続中

FY2027は順調なスタート

GISが引き続き成長を牽引



SISの逆風は限定的



Q1の好調な業績を踏まえ、通期業績見通しを据え置き

連結売上高：2,404億円（+16% YoY¹、+5% CC²）
 北米、欧州、アジア・オセアニアでのGISの力強い
 業績が成長を牽引

売上成長に加え、研究開発費の発生タイミングや
 ポジション最適化プログラムによる人件費削減効
 果が寄与し、利益率が改善

通期見通しは据え置き。下期に見込む構造的な追
 い風を背景に通期見通し達成を目指す

¹ YoY = 前期比 ² CC = Constant Currency（為替影響調整後）

主要市場における持続的な成長

北米、欧州、アジア・オセアニア

売上構成比
約80%

YoY¹
+21%

CC²
+9%

- GISは2四半期連続で二桁成長^{1,2}を達成し、コア市場全体で成長モメンタムが継続
- EDOFスコープの導入拡大および消化器科処置具に対する好調な需要がGISの成長を牽引
- 販促活動・事業運営の実行力向上と製品供給の改善により、パイプラインを着実に売上へ転換
- GISでは、第2四半期以降は前年同期比のハードルが上昇するものの、力強い顧客需要を背景に成長が継続

中国、日本

売上構成比
約20%

YoY¹
▲1%

CC²
▲8%

中国 (YoY¹ ▲3%)

- EDOFスコープ（下部消化管用）のQ1投入により、現地製品ポートフォリオを拡充
- 市場環境の逆風が継続する中でも、GISの実績は概ね想定どおりに推移
- 現地化戦略の進展に伴い、下期にかけて緩やかな回復を見込む

日本 (YoY¹ 0%)

- 消化器内視鏡の主カスコープが寄与し、堅調に推移
- 業績改善に向け、販促活動・事業運営の実行力向上に注力

¹ YoY = 前期比 ² CC = Constant Currency (為替影響調整後)

患者さんの安全を最優先に取り組みを継続

FDA エンゲージメント

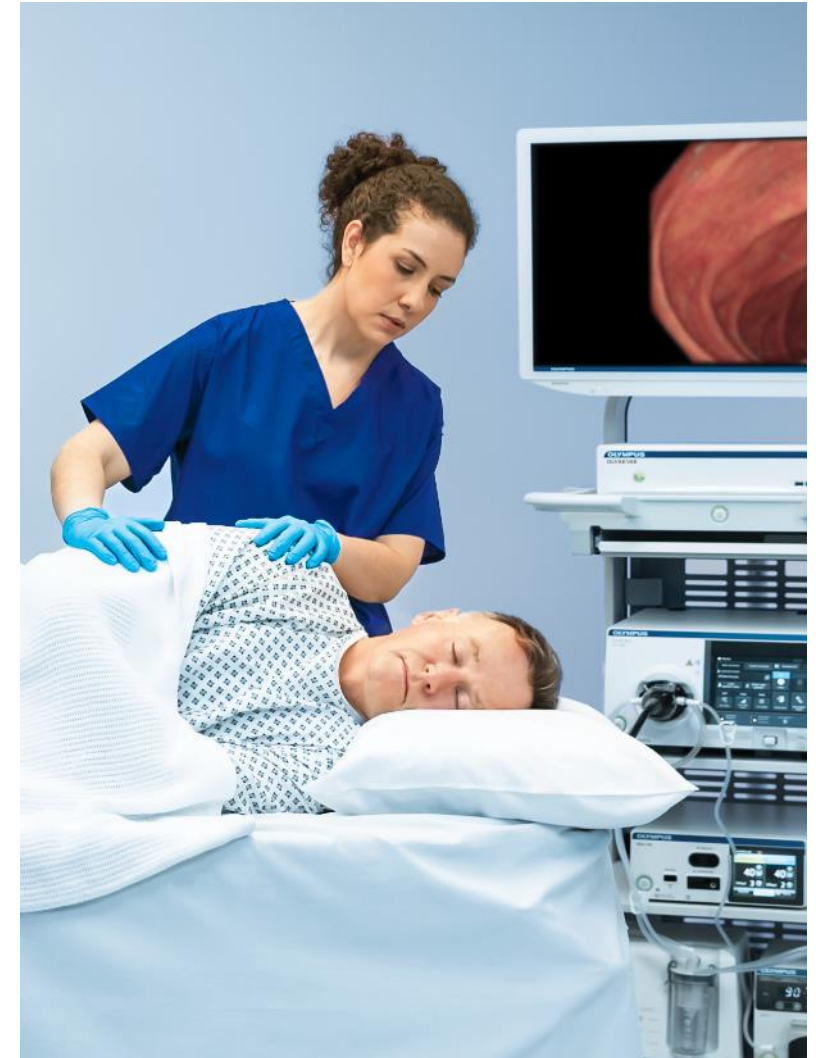
FDAとの継続的かつ建設的な対話を維持。取り組みの進捗に応じた透明性の確保に引き続き取り組む

事業継続

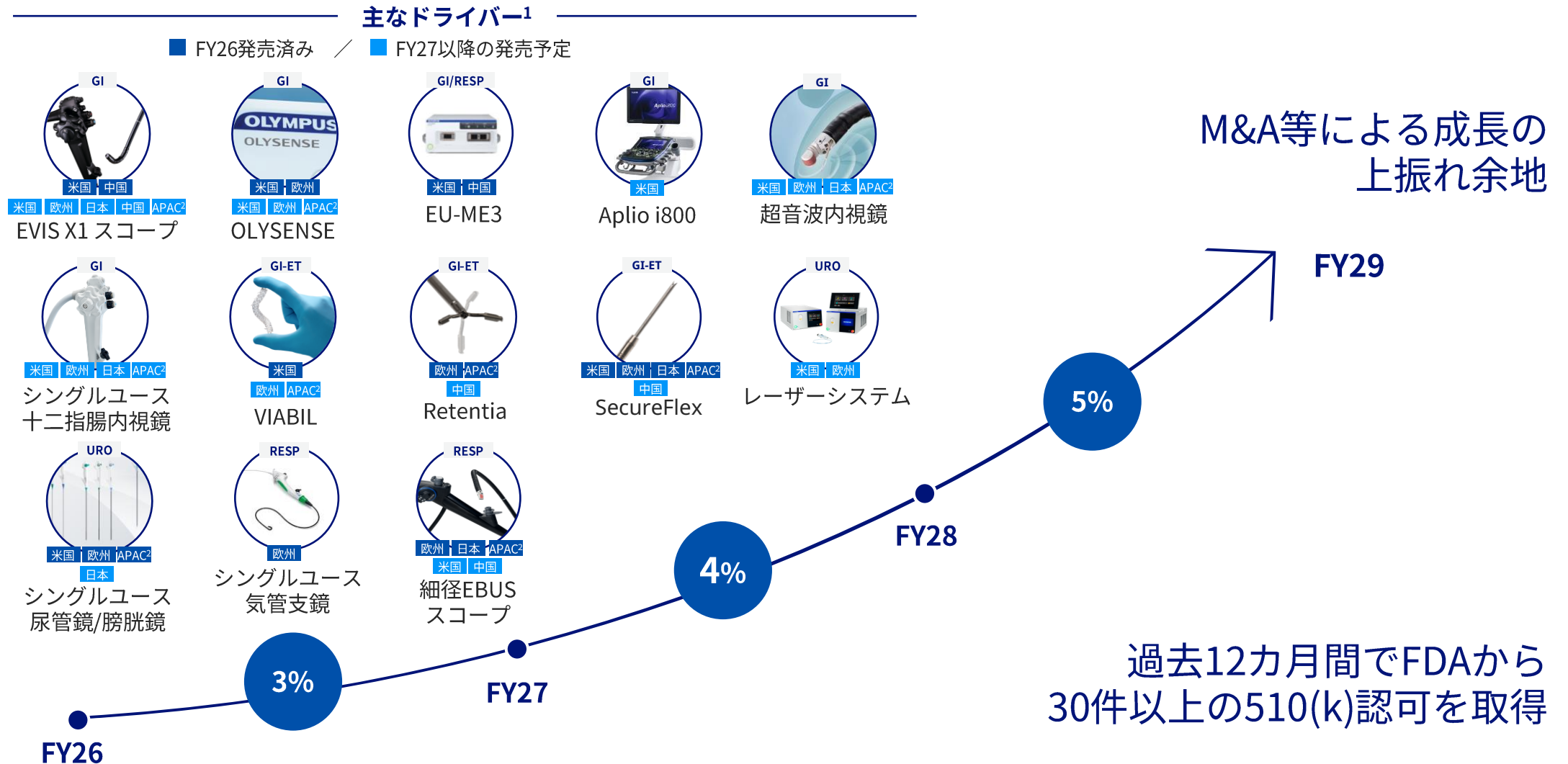
出荷止めの影響を受けている製品の大半について、FY27下期に市場への供給再開を見込む

品質 リーダーシップ

業界で40年以上の経験を有するブライアン・バリーを、執行役 チーフクオリティオフィサー（最高品質法規制責任者）として任命。ブライアンが品質向上の次のフェーズを主導し、品質システムの強化と品質文化のさらなる定着を引き続き推進



テクノロジーの実践：イノベーションを通じて医療の発展に貢献



連結業績および事業概況

2027年3月期 第1四半期

2027年3月期 第1四半期実績ハイライト

ハイライト

第1四半期は順調なスタート
通期見通しの達成への確信を深める



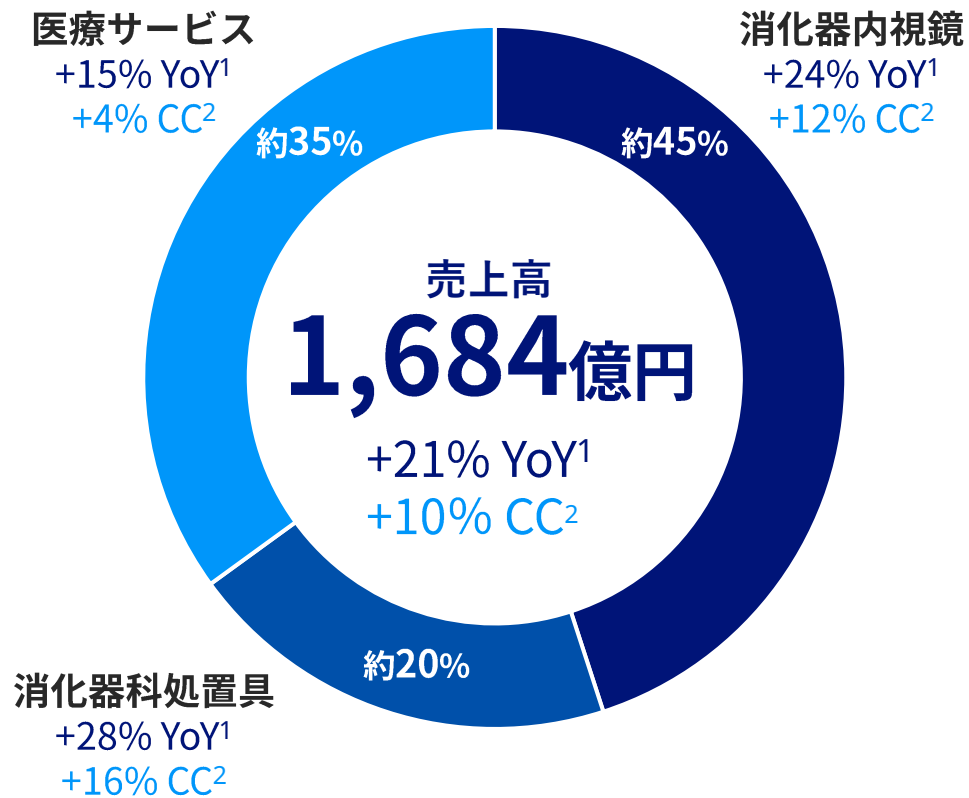
- 売上高は2,404億円、前年同期比で16%成長（為替影響調整後で5%成長）
GISの北米、欧州、アジア・オセアニアが好調に推移
- 調整後営業利益率¹は12.8%、前年同期比で6.4%pp増（為替影響調整後で5.7pp増） 主な要因は売上成長と研究開発費や人件費の減少

売上高	2,404億円	+16% YoY ² +5% CC ³
調整後営業利益率 ¹	12.8%	+6.4pp YoY ² +5.7pp CC ³
調整後EPS	20円	+130% YoY ²
調整後FCF	92億円	+267億円 YoY ²

¹ 特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く。為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

² YoY = 前期比 ³CC = Constant Currency（為替影響調整後）

2027年3月期 第1四半期実績 消化器内視鏡ソリューション事業



Q1実績の主な要因（前期比）

消化器内視鏡

EDOFスコープの継続的な普及拡大と、EU-ME3の強い需要が成長を牽引し、前年同期比で24%成長。成長は幅広い地域に渡り、北米、欧州、アジア・オセアニアでは二桁成長を達成

消化器科処置具

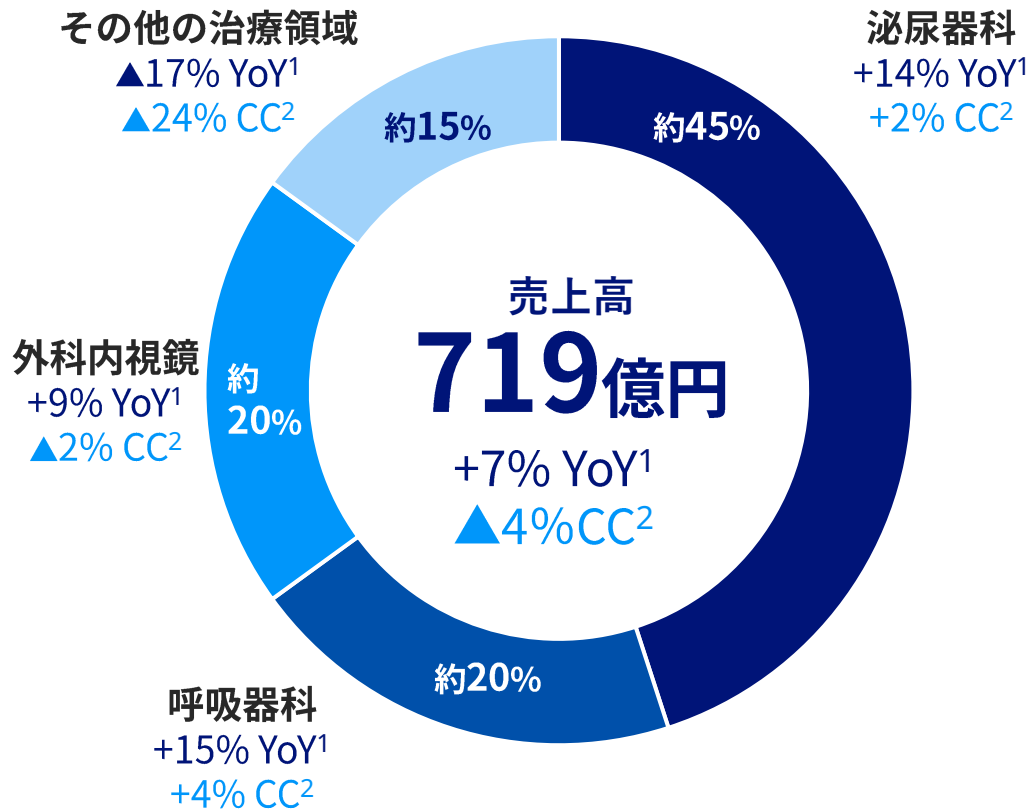
VIABILステントの好調な業績とコアポートフォリオ全体での継続的な成長により、前年同期比で28%成長。北米と欧州が成長を牽引

医療サービス

継続的なサービス契約の売上と欧州と北米における堅調な事業運営により、前年同期比で15%成長

¹ YoY = 前期比 ² CC = Constant Currency (為替影響調整後)

2027年3月期 第1四半期実績 サージカルインターベンション事業



Q1実績の主な要因（前期比）

泌尿器科

BPH用の切除用電極等の売上が増加し、前年同期比で14%成長。欧州と北米が成長を牽引

呼吸器科

EBUS-TBNAで使われる超音波気管支鏡や処置具が好調に推移し、前年同期比で15%成長。北米が成長を牽引

外科内視鏡

欧州の売上増加と為替の追い風により、前年同期比で9%成長

その他の治療領域

サージカルデバイスにおける一部製品の出荷止めの影響などにより、前年同期比で▲17%減収

¹ YoY = 前期比 ² CC = Constant Currency (為替影響調整後)

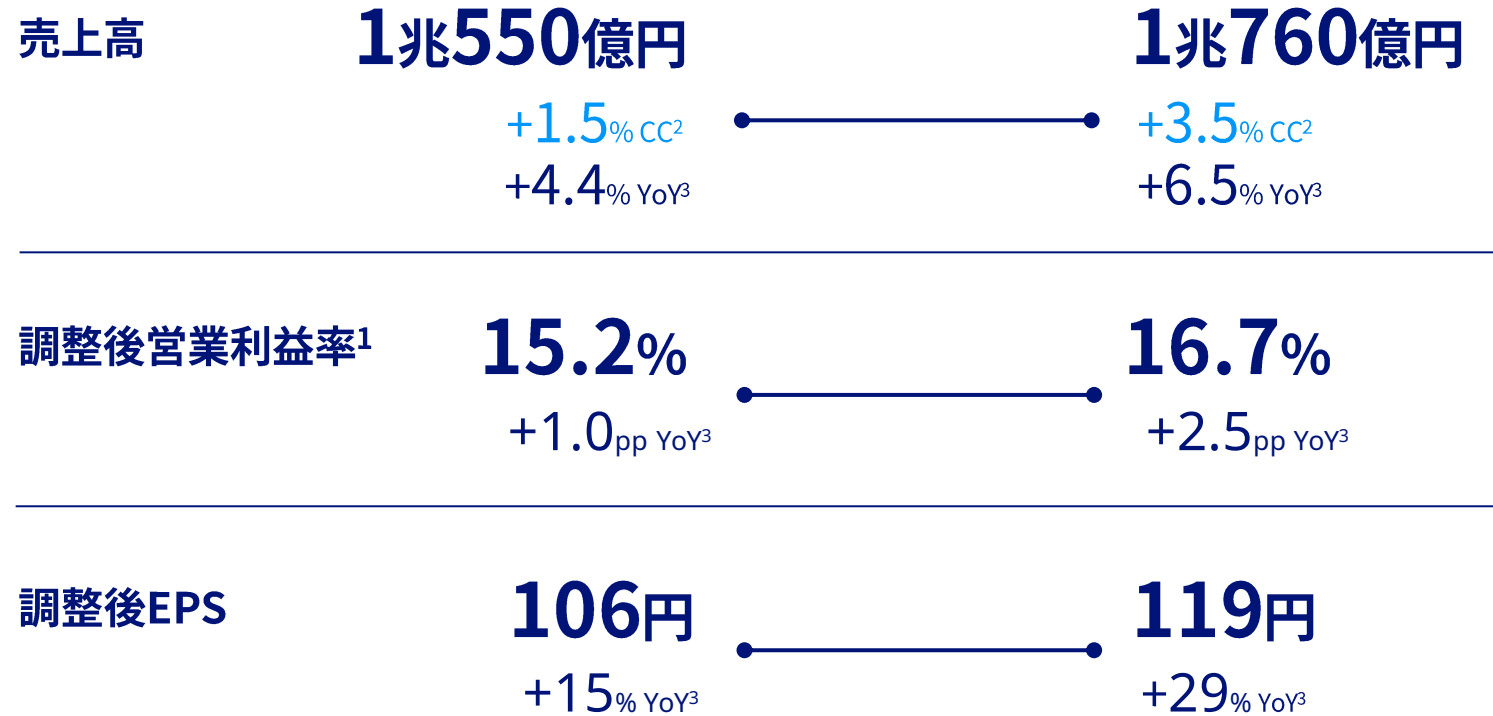
通期業績見通しに対する進捗

2027年3月期

2027年3月期 通期業績見通し 連結業績

2027年3月期の通期見通し

- 5月時点から変更なし
- 毎年の100+bpsの利益率の改善に向けて計画通り進捗



第一四半期は力強いスタート
当社計画への確信を深め、2027年3月期の通期見通し達成に向けて順調に進捗

¹特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く。為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用 ²CC = Constant Currency（為替影響調整後） ³YoY = 前期比

OLYMPUS

The logo consists of the word "OLYMPUS" in a bold, dark blue, sans-serif typeface. Directly beneath the text is a horizontal yellow line that features a slight upward curve in its center.

Appendix

2027年3月期 第1四半期 連結業績概況

(単位：億円) ※EPS、調整後EPSを除く	FY26 Q1	FY27 Q1	前期比	為替影響調整後
売上高	2,065	2,404	+16%	+5%
売上原価	714	836	+17%	+5%
売上原価率	34.6%	34.8%	+0.2pp	0.0pp
販管費	1,222	1,250	+2%	▲6%
販管费率	59.2%	52.0%	▲7.2pp	▲6.3pp
持分法による投資損益	2	▲11	-	-
その他の収益および費用	34	▲17	-	-
営業利益	166	290	+74%	+48%
営業利益率	8.0%	12.0%	+4.0pp	+3.3pp
調整後営業利益 ¹	132	307	+133%	+98%
調整後営業利益率	6.4%	12.8%	+6.4pp	+5.7pp
税引前利益	169	276	+63%	
税引前利益率	8.2%	11.5%	+3.3pp	
当期利益 ²	90	191	+112%	
EPS	8円	18円	+123%	
調整後EPS	9円	20円	+130%	

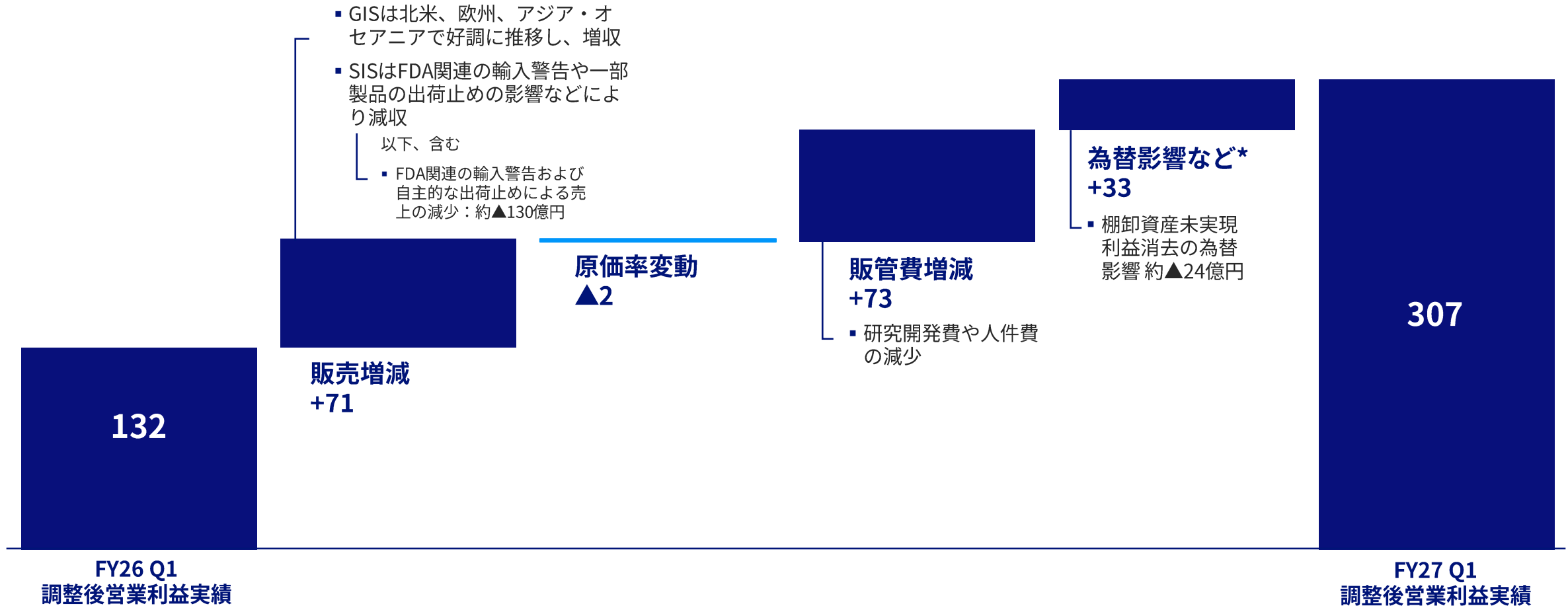
¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ² 親会社の所有者に帰属する当期利益

2027年3月期 第1四半期 サブセグメント別概況

(単位：億円)		FY26 Q1	FY27 Q1	前期比	為替影響調整後
消化器内視鏡ソリューション	売上高	1,390	1,684	+21%	+10%
	営業利益	181	386	+113%	+84%
	営業利益率	13.0%	22.9%	+9.9pp	+8.9pp
	調整後営業利益 ¹	201	393	+95%	+69%
	調整後営業利益率	14.5%	23.3%	+8.9pp	+7.9pp
サージカルインターベンション	売上高	674	719	+7%	▲4%
	営業損益	▲19	▲24	-	-
	営業利益率	-	-	-	-
	調整後営業利益 ¹	▲13	▲21	-	-
	調整後営業利益率	-	-	-	-
全社・消去 ²	売上高	1	0	-	-
	営業損益	3	▲73	-	-
連結合計	売上高	2,065	2,404	+16%	+5%
	営業利益	166	290	+74%	+48%
	営業利益率	8.0%	12.0%	+4.0pp	+3.3pp
	調整後営業利益 ¹	132	307	+133%	+98%
	調整後営業利益率	6.4%	12.8%	+6.4pp	+5.7pp

¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ² 2027年3月期より新規事業に関する研究開発や探索活動が事業セグメントの定義を満たさなくなったため、従来「その他」の区分に計上していた金額を「全社・消去」の区分に計上しております。この変更に伴い、FY26 Q1の値も変更後の区分に組み替えて表示しています

2027年3月期 第1四半期実績 連結調整後営業利益増減要因



(単位：億円) * 「持分法による投資損益」が含まれています

プロダクトパイプライン：消化器内視鏡ソリューション事業

(2026年8月7日時点)

現在の主力製品

消化器内視鏡

- EVIS X1システム・スコープ
- EVIS EXERA IIIシステム・スコープ
- EVIS LUCERA ELITEシステム・スコープ
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3
- 超音波画像診断装置 Aplio i800 EUS



EVIS X1システム



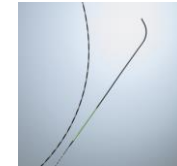
内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3



超音波画像診断装置 Aplio i800 EUS

消化器科処置具

- ERCP (ガイドワイヤ)
- ESD&EMR (ESDナイフ)
- サンプリング (スネア、生検鉗子)
- 止血 (止血クリップ、止血関連ソリューション)
- EUS (超音波内視鏡検査用吸引生検針)



ガイドワイヤ



ESDナイフ

FY2026発売の主な製品

消化器内視鏡

- EXIS X1 EDOF上部消化管用ビデオスコープ (米国、中国)
- EXIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ (米国)
- OLYSENSE¹ CAD/AI (米国、欧州)
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3 (米国、中国)

消化器科処置具

- 止血クリップ Retentia (欧州、アジア・オセアニア)
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex (米国、欧州、日本、アジア・オセアニア)
- 大腸内視鏡先端アタッチメント EndoCuff Vision (日本)
- ディスポーザブル回収ネット (欧州)
- 高周波スネア (欧州)
- 胆管用メタリックステント VIABIL (米国)

FY2027発売および発売予定の主な製品

消化器内視鏡

- EXIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ (中国)
- EVIS X1スコープ (米国、欧州、日本、アジア・オセアニア)
- OLYSENSE Asset Care (欧州)
- OLYSENSE Computer-Aided Metrics (欧州)
- 新超音波内視鏡 (欧州、日本、アジア・オセアニア)
- シングルユース十二指腸内視鏡 (米国、日本)
- 超音波画像診断装置 Aplio i800 EUS (米国)

消化器科処置具

- 止血クリップ Retentia (中国)
- 胆管用メタリックステント VIABIL (欧州、アジア・オセアニア)

FY2028以降発売予定の主な製品

消化器内視鏡

- EVIS X1スコープ
- 新超音波内視鏡 (米国)
- OLYSENSE CAD/AI (アジア・オセアニア)
- OLYSENSE Report (欧州)
- OLYSENSE Computer-Aided Metrics (米国)
- OLYSENSE Insights
- シングルユース十二指腸内視鏡 (欧州、アジア・オセアニア)

消化器科処置具

- 止血関連ソリューション EndoClot (中国、アジア・オセアニア)
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex (中国)
- 新止血クリップ
- 胆管用プラスチックステント

¹ OLYSENSEはオリンパス株式会社および/またはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します
 (注) 医薬品医療機器等法承認品など、一部地域における承認、未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております
 (注) 本資料に掲載されている製品は、指定された地域内の全ての国で販売されるとは限りません

プロダクトパイプライン：サージカルインターベンション事業

(2026年8月7日時点)

現在の主力製品

泌尿器科

- レゼクト電極、ESG-410
- ツリウムファイバーレーザー装置
SOLTIVE SuperPulsed Laser System



レゼクト電極、
ESG-410



SOLTIVE
SuperPulsed
Laser System

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡
- シングルユース気管支鏡
- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ディスポーザブル吸引生検針
- スパイレーションバルブシステム
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3



EVIS X1 気管支鏡



吸引生検針

外科内視鏡

- VISERA ELITE III



VISERA ELITE III

FY2026発売の主な製品

泌尿器科

- シングルユース尿管鏡/膀胱鏡（米国、欧州、アジア・オセアニア）
- ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System（日本）
- VISERA S（米国）
- OES ELITE 硬性膀胱鏡（欧州、アジア・オセアニア）

呼吸器科

- 細径EBUSスコープ（欧州、日本、アジア・オセアニア）
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（米国、中国）
- シングルユース気管支鏡（欧州）

外科内視鏡

- VISERA ELITE III（米国、中国）

FY2027発売および発売予定の主な製品

泌尿器科

- シングルユース尿管鏡/膀胱鏡（日本）
- 4Kカメラヘッド（米国、中国）
- OES ELITE 硬性膀胱鏡（米国、日本）
- レーザーシステム（米国、欧州）
- BioProtect社製品バルーン・スパーサー（米国）

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡（米国）
- 細径EBUSスコープ（米国）

外科内視鏡

- ENDOEYEビデオ腹腔鏡（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）

FY2028以降発売予定の主な製品

泌尿器科

- レーザーシステム
- VISERA S（中国）
- OES ELITE 硬性膀胱鏡（中国）

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡（中国）
- 細径EBUSスコープ（中国）

外科内視鏡

- 次世代外科内視鏡システム

(注) 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

(注) 本資料に掲載されている製品は、指定された地域内の全ての国で販売されるとは限りません

2027年3月期 第1四半期実績 連結調整後営業利益

☒
調整後営業利益は、営業利益から「その他の収益・その他の費用」を差し引いた数値を記載

(単位：億円)		FY26 Q1	FY27 Q1
営業利益		166	290
①調整項目：その他の収益		70	11
主な収益科目	株式会社エビデントとのライセンス使用許諾等に関する合意に基づく対価 60（全社・消去）		
②調整項目：その他の費用		▲36	▲28
主な費用科目	品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 ▲24（GIS、SIS）		
調整後営業利益		132	307

連結財政状態計算書

- 1 総資産は減少。株主還元やBioprotect社の買収などにより現預金が減少し、BioProtect社の買収によりのれんが増加
- 2 社債及び借入金による短期・長期の資金調達（780億円）を主要因に、負債は増加
- 3 自己株式の取得や配当金の支払を主要因に、資本は減少

(単位：億円)	2026年3月末	2026年6月末	増減額		2026年3月末	2026年6月末	増減額
流動資産	7,063	6,375	▲688	流動負債	4,369	4,674	+305
現金及び現金同等物	1,880	1,185	▲695	営業債務及びその他の債務	806	617	▲190
営業債権及びその他の債権	2,368	2,103	▲265	社債および借入金	799	1,391	+593
棚卸資産	2,071	2,213	+14.2	その他の流動負債など ¹	2,764	2,666	▲98
非流動資産	8,309	8,890	+581	非流動負債	2,882	3,112	+229
有形固定資産	2,872	2,977	+105	社債および借入金	1,597	1,798	+201
無形資産	1,010	1,033	+23	資本	8,120	7,479	▲641
のれん	1,942	2,401	+459	自己資本比率	52.8%	49.0%	▲3.8pp
資産 合計	15,372	15,265	▲107	負債および資本合計	15,372	15,265	▲107

¹ 連結財政状態計算書の勘定科目である、その他の金融負債、未払法人所得税、引当金、その他の流動負債を含みます

連結キャッシュフロー計算書

- 1 FCF：税引前利益の増加と法人税の支払の減少の一方、BioProtect社の買収を主要因に、FCFは499億円のマイナス。特殊要因を考慮した調整後FCF¹は92億円のプラス
- 2 財務CF：自己株式の取得による支出と配当金の支払による減少を、社債及び借入金による短期・長期の資金調達で一部相殺し、210億円のマイナス

(単位：億円)	FY26 Q1	FY27 Q1	増減
税引前利益	169	276	+107
営業キャッシュフロー（営業CF）	▲152	143	+295
投資キャッシュフロー（投資CF）	▲175	▲642	▲467
フリーキャッシュフロー（FCF）	▲327	1	▲499
調整後フリーキャッシュフロー（調整後FCF）	▲175	92	+267
財務キャッシュフロー（財務CF）	225	2	▲210
現金および現金同等物期末残高	2,412	1,185	▲1,227

FY26 Q1の主な特殊要因

営業CF：科学事業の譲渡に関連した税金の支払（海外） ▲147億円

FY27 Q1の主な特殊要因

営業CF：グローバルレベルで組織体制を変革し、人員数の最適化を図るための施策の実施に関する支出 ▲133億円

投資CF：BioProtect社の株式の取得、SwanEndoSurgical, Incに対する出資など ▲459億円

¹ 「その他の収益・その他の費用のうちキャッシュイン、アウトしたもの」、「M&A関連支出」、「構造改革関連支出」など特殊要因を調整

2027年3月期 通期業績見通し 連結業績

(単位：億円) ※EPS、調整後EPSを除く	FY26 通期	FY27 通期見通し	前期比	為替影響調整後
売上高	10,107	10,550～10,760	+4.4%～+6.5%	+1.5%～+3.5%
売上原価	3,566	3,675～3,690	+3.1%～+3.5%	+2.7%～+3.1%
売上原価率	35.3%	34.3%～34.8%	▲1.0pp～▲0.4pp	▲0.1pp～+0.4pp
販管費	5,071	5,195～5,200	+2.4%～+2.5%	▲0.1%～0%
販管费率	50.2%	48.3%～49.2%	▲1.8pp～▲0.9pp	▲1.7pp～▲0.8pp
その他の収益および費用など	▲499	▲315	-	-
営業利益	971	1,365～1,555	+40.6%～+60.1%	+23.3%～+42.6%
営業利益率	9.6%	12.9%～14.5%	+3.3pp～+4.8pp	+2.1pp～+3.6pp
調整後営業利益 ¹	1,433	1,605～1,795	+12.0%～+25.3%	+1.4%～+14.5%
調整後営業利益率	14.2%	15.2%～16.7%	+1.0pp～+2.5pp	0pp～+1.5pp
当期利益 ²	682	955～1,090	+40.1%～+59.9%	
EPS	61円	90円～102円	+46%～+67%	
調整後EPS	92円	106円～119円	+15%～+29%	

2027年3月期配当
年間配当30円を予定

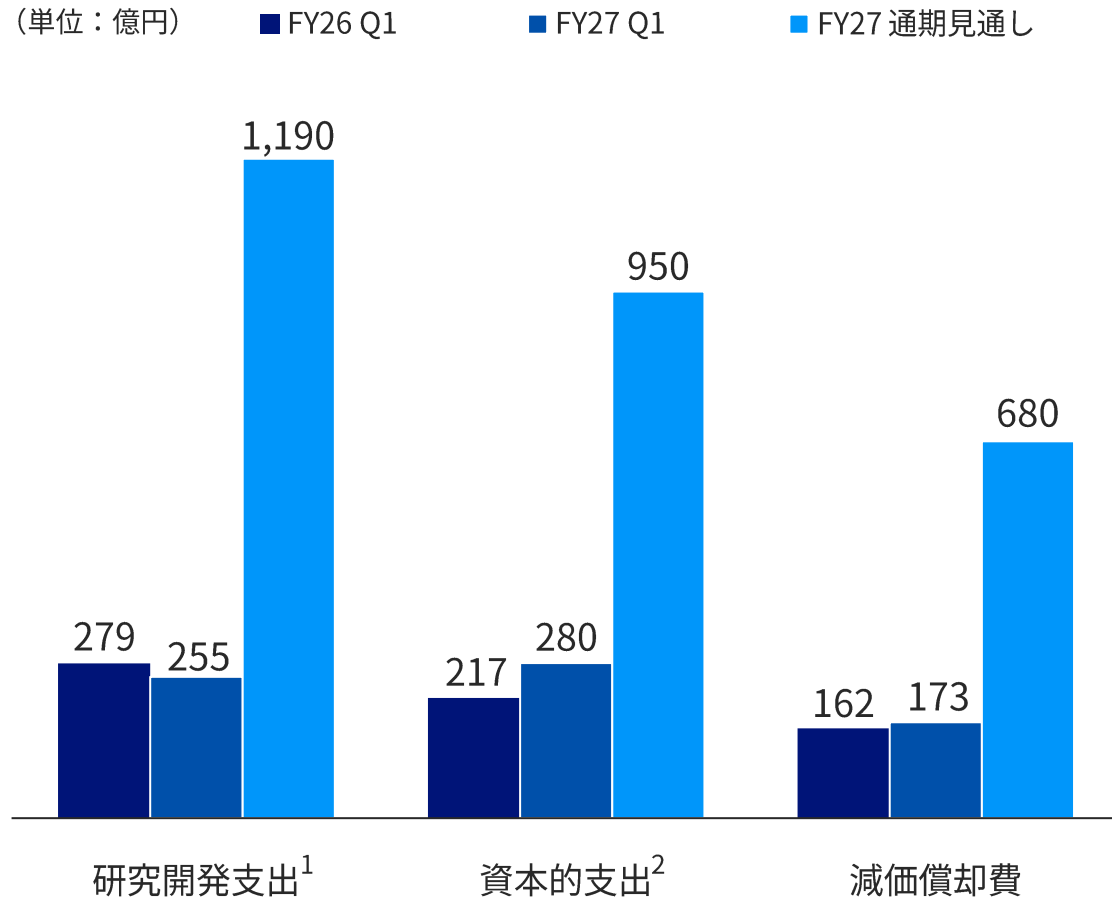
¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ² 親会社の所有者に帰属する当期利益

2027年3月期 通期業績見通し セグメント別業績

(単位：億円)		FY26 通期	FY27 通期見通し	前期比	為替影響調整後
消化器内視鏡 ソリューション	売上高	6,974	7,440～7,490	+6.7%～+7.4%	+3.7%～+4.5%
	営業利益	1,364	1,735～1,800	+27.2%～+32.0%	+17.4%～+22.2%
	営業利益率	19.6%	23.3%～24.0%	+3.8pp～+4.5pp	+2.6pp～+3.3pp
	調整後営業利益 ¹	1,644	1,815～1,880	+10.4%～+14.4%	+2.2%～+6.2%
	調整後営業利益率	23.6%	24.4%～25.1%	+0.8pp～+1.5pp	▲0.3pp～+0.4pp
サージカル インターベンション	売上高	3,131	3,110～3,270	▲0.7%～+4.4%	▲3.5%～+1.5%
	営業損益	▲150	▲25～100	-	-
	営業利益率	-	-	-	-
	調整後営業利益 ¹	8	50～175	+517.4%～+2,061.1%	+196.4%～+1,715.3%
	調整後営業利益率	0.3%	1.6%～5.4%	+1.3pp～+5.1pp	+0.5pp～+4.4pp
全社・消去 ²	売上高	2	-	-	-
	営業損益	▲243	▲345	-	-
連結合計	売上高	10,107	10,550～10,760	+4.4%～+6.5%	+1.5%～+3.5%
	営業利益	971	1,365～1,555	+40.6%～+60.1%	+23.3%～+42.6%
	営業利益率	9.6%	12.9%～14.5%	+3.3pp～+4.8pp	+2.1pp～+3.6pp
	調整後営業利益 ¹	1,433	1,605～1,795	+12.0%～+25.3%	+1.4%～+14.5%
	調整後営業利益率	14.2%	15.2%～16.7%	+1.0pp～+2.5pp	0pp～+1.5pp

¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ² 2027年3月期より新規事業に関する研究開発や探索活動が事業セグメントの定義を満たさなくなったため、従来「その他」の区分に計上していた金額を「全社・消去」の区分に計上しております。この変更に伴い、FY26 通期の値も変更後の区分に組み替えて表示しています

投資実績推移および2027年3月期 通期見通し



(単位：億円)	FY26 Q1	FY27 Q1	FY27 通期見通し
研究開発支出 ¹ (a)	279	255	1,190
開発費資産化 (b)	42	46	250
損益計算書上における研究開発費 (a-b)	237	209	940

(単位：億円)	FY26 Q1	FY27 Q1
償却費	20	21
	2026年3月末	2026年6月末
開発資産残高	717	747

1 研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています
2 資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用权資産が含まれています。
(FY26 Q1：41億円、FY27 Q1：83億円、FY27 通期見通し：130億円)

為替レート及び為替感応度

為替

(単位：円)	FY26 Q1	FY27 Q1	FY27 見通し
円／ドル	144.59	159.49	155
円／ユーロ	163.80	185.39	181
円／人民元	19.99	23.43	22.5

為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	29	5
ユーロ（1円あたり）	17	5
人民元（1円あたり）	39	17

*上表の数値は継続事業の金額を表示しています。また、為替感応度（年間）はFY26Q4実績より算出しています

略語集

略語	英語	日本語
BPH	Benign Prostatic Hyperplasia	前立腺肥大症
EBUS-TBNA	Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Fine Needle Aspiration	超音波気管支鏡ガイド下針生検
EMR	Endoscopic Mucosal Resection	内視鏡的粘膜切除術
ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography	内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
ESD	Endoscopic Submucosal Dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術
EUS	Endoscopic Ultrasound	超音波内視鏡